

明治大学（日本、東京）
www.meiji.ac.jp

明治大学は日本屈指の総合大学です。すべてのキャンパスは他の教育施設や研究所と連結しており、最高の設備と優秀な講師陣を誇っています。和泉キャンパスはその敷地内にメディア棟を新設し、利用者に最先端情報技術を提供しています。2005年4月の完成後、新校舎は一般教育の重要拠点であると同時に、発展し続けるキャンパスと大学の最新モデルにもなっています。

メディア棟のすべての教室と大講義室には合計80台におよぶヴォルフビジョンプロフェッショナルシリーズのビジュアライザーが設置されています。多くの人々によってたくさんの機器が頻繁に使用されるため、それらは使いやすく、信頼でき、大学のITサポートチームに余計な負担がかからないものでなければなりません。「我々ITサポートはコンピュータやアンプの使い方についての質問をたびたび受けますが、ビジュアライザーについては1度もありません。ヴォルフビジョンのビジュアライザーは操作が非常に簡単なので、取扱説明書なしで誰でも使えるからです」と和泉キャンパスの和田格マネージャーはこう話しています。

大学がヴォルフビジョンのプロフェッショナルシリーズを選んだ主な理由の1つは、芸術や化学の分厚い書籍の記事や画像を直接カメラで撮影できる点でした。他社のカメラでは、厚みがありページが彎曲している書籍はうまく撮影できないからです。



歴史や文学の分厚い書籍の文字も
ビジュアライザーではっきりと表示可能



ヴォルフビジョンのプロフェッショナル望遠ズームレンズ
で彎曲したページでもすべての部分が読み取れます

他製品はカメラに最も近い部分しかフォーカスを合わせることができないので、その他の部分ははっきりと読み取ることができません。ヴォルフビジョンのプロフェッショナル望遠ズームレンズは被写界深度が極めて深いため、特別なフォーカス調整なしで高さの異なるページのすべての部分を完全に鮮明に見せられます。

講義の中でスライドを使用する講師も、高画質で優れた自然色再現に大変満足しており、スライドプロジェクターをビジュアライザーに交換したほどです。大型の内蔵ライトボックスはワーキングプレートの全面をカバーしているので、講義の前にスライドの内容を確認しながら順序よく整理することも素早く簡単にできます。

ビジュアライザーの画像はデジタル方式でプロジェクターに送られるので、教室内のどの場所に設置しても問題ありません。明治大学では教室の前方スクリーンの横に設置したため、学生用の座席をより多く確保することができました。

WOLFVISION[®] Visualizer

教育分野の納入事例

ビジュアライザーは専用にデザインされた教卓にすっきりと収められ、余分な場所を取ることもありません。



ビジュアライザーをスクリーンのすぐ横に設置し座席をより多く確保しています。学生の視界が教卓や OHP などの機器に遮られることもありません。

特に好評なのは、ヴォルフビジョン独自の特殊な照明システムです。



和田氏いわく、

「他社製品に対し、ヴォルフビジョン製品には側面に照明がないので、結果的に光の漏れがありません。

講師はまぶしい思いをすることなく操作できるので、目への負担がなくなり、講義環境がかなり改善しました。

また、実際に映像に影が映らないこともわかりました。特に講師が資料に書き込みをしたり、ある部分を指し

示したりする際に、指やペンの影が肝心な部分を隠してしまう心配がまったくないので

すべての中教室には 4 台のプラズマモニターと 2 台のスクリーンが設置してあり、学生はどの席からでも完璧に映像を見ることができます。また、1 台のビジュアライザーで静止画像（フリーズイメージ）と動画（ライブイメージ）を別々の画面に同時に出力することが可能なので、2 つの異なる画像をその場で見比べることができます。すべての画像を画面分割せずにフルサイズで表示できるため、講師は被写体をいちいち動かす必要がなく、学生にとってもより理解しやすい講義が簡単に実現できるようになりました。



静止画像と動画を同時に表示できるので 2 つのフルサイズ画面で異なる映像を見比べることができます。

新しいメディア棟は、教育現場に新技術を導入するという点において、学内でも最も進歩的な施設です。ヴォルフビジョンのビジュアライザーはその中に組みこまれ、明治大学が誇る教育の専門家が最高級の映像情報を学生に供与するのに貢献しています。

これはまさに最高のビジュアルコミュニケーションの実現と言えるでしょう。

この案件では、ヴォルフビジョンの正規代理店である株式会社東和エンジニアリング様に提案段階からご尽力いただきました。